

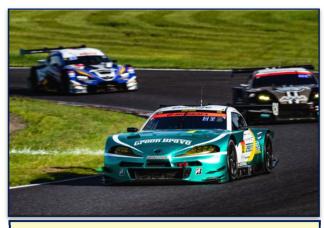


#52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT450km RACE

2022 年 8 月 27 日(土)~28 日(日) 鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)

■ ■ ■トラブルを抱えながらも 16 台抜きの 4 位入賞 ■ ■ ■

SUPER GT の第5戦が鈴鹿サーキットで行われました。レー ス距離は前戦と同じ 450km (77 周)。GT300 クラスのエントリ ー台数は27台です。予選日(土曜日)の天候は曇。95分間の公 式練習は9時25分から行われ、吉田選手が最初にコースイン。 1回のピットインを挟み、硬さの異なるタイヤで走行しますが、 吉田選手がハンドリングの違和感を訴えており、ピットはいきな り緊迫します。GR Supra GT は前戦、車体にトラブル発生。問 題の箇所は修理済みですが、別の問題が発生しており、ダウンフ オースが不足しているのです。川合選手も同様の症状を訴えてい て、ベストタイムは吉田選手が 13 周目にマークした 1 分 59 秒 363 (11位)。走行終了後、店舗メカニックがフロントセクション を分解。できる限りの整備を行い、症状の改善に努めます。予選 は2組に分かれて行われ、GR Supra GT はB組に出場。ドライ バーは吉田選手です。吉田選手は4周目に1分59秒031をマー



決勝結果(GT300) #52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT (吉田広樹/川合孝汰)

決勝:4位(72周、2時間37分31秒334) 予選: 20位(B組10位、1分59秒031)

ク。Q1 突破圏内ギリギリの 8 位につけますが、ライバルが吉田選手のタイムを上回ったため、アタックを継続しま す。しかし、コーナーに飛び込めないクルマでタイムを更新するのは難しく、B組10位という結果に。不本意な予 選20位から決勝を戦うことになりました。

決勝日(日曜日)の天候は曇。チームはスタート位置を考え、1周目の終わりに1回目のピットインを行う作戦を 立案。集団の中でペースを乱されるより、単独で効率よく走った方が、ジャンプアップできる可能性が高いからで す。スタートドライバー、川合選手が順当なスタートをきると、作戦通り1周目の終わりにピットイン。短い給油 のみでコースに復帰します。川合選手のペースはまずまずで、24周目に4位まで浮上。しかし、タイヤの摩耗は確 実に進んでおり、ライバルと一進一退の攻防が続きます。レースの約半分を過ぎた36周目、川合選手が2回目のピ ットイン。吉田選手に交代し、給油とタイヤ交換を行いコースに復帰します。吉田選手の順位は18位。吉田選手は タイヤをマネジメントしながらも、クルマの不具合を感じさせないペースで周回。アクシデントにより、45 周目に セーフティカー (SC) が導入された時点で、12位を走行しています。

51周目からレース再開。ライバルのピットインにより、吉田選手の順位は9位に。上位集団から離されることな く、走行を続けます。54 周目、#88 ウラカンを抜いて7位に上がると、ライバルのピットインやペナルティにより、



61 周目に 4 位へ。吉田選手の力走にスタッフの応援にも力が入ります。63 周目、#55NSX がコースアウト。これにより、吉田選手は3位に浮上します。 しかし、後方から#30GR86が急激に追い上げており、65周目に再び4位へ。 その後も後続の追い上げにあいますが、ポジションをキープしてチェッカー。 16 台抜きの 4 位でフィニッシュし、今季 3 回目の入賞を記録しました。今 回の結果により、チームランキングはトップと23ポイント差の7位に上昇。 後半戦も見逃せないレースが続きます。

DRIVERS VOICE

吉田広樹 選手



(予選後) 走り始めから、この前の富士で起きた症状と似たことが起きていました。メカはしっかり修理し、整備してくれたのですが、新しいパーツを使っているので、思っていたところとは違うところに原因がありました。いい解決方法が見つからないまま、予選に挑むしかなかったのですが、アタックはまとめられたと思います。もう少し上がり幅があったかなという気もするのですが、ミスがあったわけではありません。やれる中で思い切りやれたと思います。

(決勝後)早い段階でタイヤがきつくなったのですが、SCが入った後も、前を抜きたい気持ちがありました。集団がごちゃごちゃとなった時、1台抜くことができたのですが、速さ的には結構厳しく、すぐに抜き返されてしまいました。途中からは自分たちの状況を考え、順位を守る方に集中していました。本当は3位を守り切り、表彰台をメカニックにプレゼントしたかったのですが、自分も精いっぱいやったので、仕方ないですね。

川合孝汰 選手



(予選後) 結果は致し方ないと思いますが、突破の可能性もあるかなと思っていたので残念です。前回の富士でフロントのエアロ部分にトラブルが出てしまい、今回はその部分を新しい材料で作り直して持ってきましたが、クルマが曲がらず、正直厳しい状態です。セットアップについても判断が難しく、フロントまわりの確認に公式練習の時間を費やしました。症状は大きく改善されていませんが、粘り強く戦い、少しでもポイントを持って帰りたいと思っています。

(決勝後) 思った以上の結果だと思います。自分のスティント、路温も気温も高かったのですが、スタート後すぐはタイヤのグリップもあり、いい状態で走れました。ただ、10 周目以降から急激なグリップの低下があり、さらにフロントのエアロにも問題を抱えていたので、中盤ぐらいから急激に曲がらなくなってしまいました。タイヤの消耗は予想していたので、なるべく早く前に出たいと思っていたのですが、ついていけなかったですね。

周回数

72周

72 周

72 周

72 周

72 周

72 周

GT300 決勝結果

車名(車両

1位:GOODSMILE HATSUNE MIKU AMG(メルセデス AMG GT3)

2位: TANAX GAINER GT-R (日産 GT-R NISMO GT3)

3位:apr GR86 GT (トヨタ GR86 GT)

4 位:埼玉トヨペット GB GR Supra GT (トヨタ GR Supra GT)

5位: Team LeMans Audi R8 LMS (アウディ R8 LMS)

6位: LEON PYRAMID AMG (メルセデス AMG GT3)

天候:晴路面:ドライ ※トップ6(出走27台)

チームランキング GT300

順位 ゼッケン チーム名 ポイント 1位 56 KONDO RACING 51.5 **GAINER** 41.5 2位 10 3位 61 **R&D SPORT** 41 4 GOODSMILE RACING & Team UKYO 37.5 4 位 5位 18 TEAM UPGARAGE 36.5 6位 11 **GAINER** 30.5 7位 52 埼玉トヨペット Green Brave 28.5

トップ7まで





PARTNERS



ARCHE

ThreeBond



アルパインマーケティング株式会社 村

株式会社エヌ・ティ・コーポレーション

埼群スリーボンド株式会社

株式会社西武ライオンズ

DE RELE

FORGED

UNDER ARMOUR

VIEW TEC 日本ヴューテック Viewtec Japan Co. Ltd.

大和ラヂエーター工業株式会社 株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY

株式会社ドーム

株式会社日本ヴューテック



Mechanix Wear LLC

第6戦は9月17日~18日 スポーツランド SUGO(宮城県)